



♣グリーン・電力出資金出資者
♣グリーンコープでんき利用者

グリーンコープでんき通信 VOL.68

2024年12月16日発行
一般社団法人グリーンコープでんき



11月27日

「託送料金認可取消請求控訴事件」
控訴審第6回期日での口頭弁論を経て、
審理終結となりました!!
◆判決言渡は、2025年2月26日午後2時◆

経済産業省令で「賠償負担金・廃炉円滑化負担金」を託送料金に上乗せして全電気利用者から徴収すると決めて執行していることは違法ではないかという訴訟を、2020年10月15日に福岡地方裁判所に提訴し、第一審では9回の審理を経た結果、2023年3月22日に判決が下され、私たちの請求は棄却されました。

控訴審へ向かうことをみんなで決め、第1回期日(2023年9月19日)から第6回期日(2024年11月27日)まで、控訴審では異例とも言える長期にわたる審理を経て結審となりました。控訴審では、第一審で主張したことをさらに深化させるとともに、国側の主張のおかしな点について、徹底的に調査・追及し、間違った主張であるという確信へと押し上げていき、これ以上ない極限まで突き詰めた主張を行いました。これで勝てなかったなら、日本の司法に未来はない、と言い切れるほどの意見陳述だったと言えます。

最後の法廷には、組合員や市民、マスコミ関係者など60人余りの傍聴参加がありました。

閉廷後の記者会見では、記者からは、国からは「反論はしない、証人尋問も必要ない」との主張がされたこと、裁判所が結審と判断したことに対する率直な感想やこの裁判で求めたことの意味に関する質問がされ、小島弁護士が丁寧に応答しました。

報告集会では、参加者からこれまでの裁判を達観した感想が出され、ここまで来たことの意味をみんなで確認しあうと共に、判決に向かう意気込みを共有しました。

※閉廷後、「グリーンコープの託送料金訴訟を支える会・静岡」が集めたオンライン署名を裁判所に証拠として提出しました。

記者会見と報告集会に臨む弁護団とグリーンコープ共同体理事の皆さん

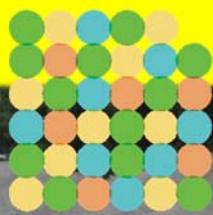


記者会見・報告集会の会場(福岡県弁護士会館401会議室)の様子

控訴審に関する資料は、グリーンコープのホームページ「託送料金を問う」にアップしています。

<URL <https://www.greencoop.or.jp/takuso-ryokin/>>

オンサイトPPAグリーン市民発電所が 続々と稼働しています！



OUR GREEN



今年、10月10日に稼働したグリーンコープTMRセンター（日田市）の屋根上に設置されたオンサイトPPAグリーン市民発電所

TMRセンターってどんな施設？

TMR (total mixed ration) は混合飼料とも称され、濃厚飼料、粕類、粗飼料、ミネラルなど乳牛に必要な飼料を混合したものです。このTMRを調合（製造）する施設がTMRセンターと呼ばれるいわば「牛の給食センター」です。

●グリーンコープでんきでは、脱原発社会・脱炭素社会の実現を目指して、原発や化石燃料に頼らない、再生可能エネルギーによる発電所をつくる取り組みのひとつとして、グリーンコープ関連施設の屋根上に太陽光発電設備を設置するオンサイトPPAグリーン市民発電所をつくる取り組みを進めています。

●組合員宅へ品質を落とすことなく商品を届けるために、物流センターや配送センターでの冷蔵庫・冷凍庫の果たす役割は大きなものとなりますが、地球温暖化の影響で、物流センターや配送センターでは、特に夏場の電力使用量がとて多くなってきています。また、TMRセンターや新牛乳工場（グリーンコープミルク）、新酪農場（耶馬溪ファーム）でも、やはり夏場は大量の電力を消費することが予想されます。

●オンサイトPPAグリーン市民発電所は送電線を通して届く電力ではなく、施設の屋根上に設置した太陽光パネルで発電した電気で賄おうという取り組みです。更に屋根上に太陽光パネルを置くことによる断熱効果も期待できますので、屋内の節電にもつながります。

●発電した電気はグリーンコープでんきが販売しますが、送電線を通して届く電気を使うには、「託送料」「再エネ賦課金」「燃料費調整額」「廃炉円滑化負担金」「賠償負担金」などの料金が加算されますが、オンサイトPPA発電所で作られた電気は送電線を通らずに、設置した施設でそのまま消費されるため、このような費用が電気料金に加算されることはありません。

●オンサイトPPAグリーン市民発電所では、グリーンコープ事業所にCO₂を排出しないという環境価値付きの電気を送電線を通して届く電気より安く販売しますので、グリーンコープにとっては燃料コストの削減につながり、経営改善にも貢献することになります。

※グリーンコープでんきのオンサイトPPAグリーン市民発電所とは？

グリーンコープでんきが発電事業者として各施設の屋根上に太陽光発電設備を設置し、発電した電気を消費した施設に販売するもので、発電所の建設費用は主にグリーン電力出資金で賄われます



追加性の高さ

発電設備導入の場合、既存の再エネ電源からの再エネ調達と比較すると世の中の再エネ電源の容量が増加することにつながるため、脱炭素化への貢献度が高い
CDPやRE100といった脱炭素化を推進するイニシアティブにおいても、こうした追加性の高い取組が評価されている

長期的な電気代の抑制

再エネ電力の調達コスト構造

発電設備導入 (オンサイト) vs 電力メジャー、証書

変動する (Variable): 卸電力価格, 環境価値価格

固定 (Fixed): 託送料金, その他, 発電コスト

発電設備導入の場合、発電コストはシステム費用や工事費に由来するものであり、卸電力市場価格高騰の影響を受けにくい
電力メジャー及び証書の場合、電力及び環境価値を市場で調達しているのであれば、市場価格高騰時にコストが上昇する

環境省「再エネ調達のための太陽光発電設備導入について」より掲載

オンサイトPPAグリーン市民発電所の展開

【 2024年12月現在 稼働中の発電所 】

所在地	施設名	容量 (kW)	発電開始月
福岡県遠賀郡水巻町	みずまき店発電所	67	2024年2月
福岡県北九州市	小倉北支部発電所	64	2024年2月
福岡県久留米市	久留米支部発電所	55	2023年7月
福岡県福津市	キッチンふくつ発電所	36	2024年2月
福岡県遠賀郡	中遠支部発電所	63	2024年2月
鹿児島県霧島市	始良センター発電所	63	2024年11月
鹿児島県鹿児島市	谷山店発電所	21	2024年11月
宮崎県都城市	都城支部発電所	69	2024年11月
大分県日田市	TMRセンター発電所	130	2024年10月

【 2024年12月現在 工事中または運転開始待ち 】

所在地	施設名	容量 (kW)	発電開始予定
広島県広島市	ひろしま西支部発電所	61	2024年12月予定
福岡県福津市	ふくつ店発電所	17	2024年12月予定
福岡県福津市	宗像支部発電所	40	2025年1月予定
大分県中津市	グリーンコープミルク発電所	100	2025年2月予定

【 2024年12月現在 計画中 】

所在地	施設名	容量 (kW)	発電開始予定
鹿児島県霧島市	りすの森保育園発電所	未定	2024年度中
福岡県福岡市	多の津センター発電所	未定	2024年度中
福岡県筑紫野市	筑紫支部発電所	59	2025年度中
大分県中津市	耶馬溪ファーム発電所	未定	未定

■ グリーンコープでんき

11月にグリーンコープでんきを供給した契約件数は、グリーンコープ事業所、組合員契約件数、グリーンコープ商品のお取引先も含め下表のとおりです。

《 24年12月2日現在の単協別実績 》

生協名	GC事業所 契約件数	組合員 契約件数	契約容量 (kW)
GCしがまる生協	2	1	15
GC生協おおさか	8	59	299
GC生協ひょうご	7	34	164
GC生協とっとり	3	52	247
GC生協（島根）	1	109	470
GC生協おかやま	5	203	865
GC生協ひろしま	9	252	1,110
GCやまぐち生協	5	474	2,022
GC生協ふくおか	91	1,921	8,549
GC生協さが	18	123	753
GC生協（長崎）	14	221	1,182
GC生協くまもと	35	540	2,835
GC生協おおい	15	306	1,368
GC生協みやざき	3	163	664
GCかごしま生協	12	211	985
単協計	226	4,668	21,513
グリーンコープでんき(低圧)	78		659
グリーンコープでんき(高圧)	72		5,236
総合計	376	4,668	27,408

■ 10月の電源構成

【関西電力エリア】

ながわ小水力発電所	85.0%
三峰川第一・第二発電所	11.0%
卒FIT太陽光発電	4.0%

【中国電力エリア】

敦賀グリーンパワー	85.3%
土師ダム管理用小水力発電所	8.4%
卒FIT太陽光発電	6.3%

【九州電力エリア】

敦賀グリーンパワー	82.4%
古賀清掃工場	13.4%
卒FIT太陽光発電	3.1%
杖立温泉熱バイナリー発電所	0.6%
馬洗瀬小水力発電所	0.5%

※中国電力・九州電力エリアはファミリープラン・オフィスプラン・低圧（動力）の電源構成です。

※グリーンコープでんきのファミリープラン・オフィスプラン・低圧（動力）はその電源となる発電所を特定しています。
※グリーンコープでんきのファミリープラン・オフィスプラン・低圧（動力）電源には原発由来の電気は一切含まれていません。

～グリーンコープでんき託送料金訴訟控訴審～

来年2月16日『判決言い渡し、皆さんご参加ください』

□判決言渡日

【日時】2025年2月26日(水) 14時:福岡高等裁判所

□記者会見・報告集会

【開催時間】2025年2月26日(水)16時頃～17時30分

【会場】※福岡県弁護士会館ではありませんので、ご注意ください

キャナルシティ博多貸会議室CA4(キャナルシティビジネスセンタービル地下1階)

<地下鉄七隈線・櫛田神社駅7番出口より徒歩3分>

■ 市民発電所

《 2024年10月・11月の発電・売電出力制御実績 》

発電所	出力(kW)	発電量(kWh)	売電額(円)	出力制御
神在太陽光発電所	1,057	147,770	5,910,800	90分
平池水上太陽光発電所	1,260	202,504	7,290,151	180分
深年太陽光発電所	1,550	221,683	7,980,592	1080分
若宮物流センター	47	6,328	227,791	0
広島物流センター	47	6,937	249,725	0
やまぐち西部地域本部	54	7,002	224,058	0
グリーン未来ソーラー(10箇所)	374	46,908	985,076	837回
オンサイトPPA発電所(9箇所)	568	39,502	718,146	—
合計	4,957	678,634	22,868,193	

・神在太陽光発電所・平池太陽光発電所・深年太陽光発電所・グリーン未来ソーラーでは、代理制御による出力制御時間（回数）を含みます。

・若宮物流センター・広島物流センター・山口西部地域本部の本来制御は他オンライン発電所で代理制御されています。

※今年の10・11月は例年と比べて日射量が少なく発電・売電に大きく影響しました

グリーンコープでんき 市民発電所の2023年度との実績比

- ・発電量 23年10月11月実績比 91.1% (▲66,603kWh)
- ・売電額 23年10月11月実績比 85.6% (▲3,847,348円)

■ グリーン電力出資金

- ・皆さんから出資いただいたグリーン電力出資金の総額(実際に振り込まれた額)は、10億4千7百99万円になっています。
- ・出資目標額(積立目標額)は、2024年11月26日現在で、10億9千4百55万円になっています。

生協名	申込人数	申込件数	出資目標額
しがまる生協	3	3	570,000
GC生協おおさか	170	200	14,600,000
GC生協ひょうご	85	97	6,470,000
GC生協とっとり	122	138	11,750,000
GC生協（島根）	228	241	11,490,000
GC生協おかやま	157	178	14,620,000
GC生協ひろしま	627	781	83,809,000
GCやまぐち生協	528	626	39,530,000
GC生協ふくおか	4,972	5,912	509,698,000
GC生協さが	293	341	43,735,000
GC生協（長崎）	559	639	56,129,000
GC生協くまもと	1,427	1,761	132,486,000
GC生協おおい	763	876	69,244,000
GC生協みやざき	257	298	24,780,000
GCかごしま生協	652	770	75,641,000
合計	10,843	12,861	1,094,552,000

・グリーン電力出資金は、市民発電所の建設費や発電事業立ち上げのための資金（社債）に充てられています。

・2024年9月次支出総額は8億5千6百45万円で、残高は2億8百91万円となっています。

・市民発電所の建設と調査・検討を継続して進めています。

これまで出資いただいた金額	1,047,990,500
これまで支出した事業と金額	856,450,359
神在太陽光発電所、平池水上太陽光発電所、深年太陽光発電所、若宮物流センター、広島物流センター、やまぐち西部地域本部、グリーン未来ソーラー発電所（10）、豊浦太陽光発電所、馬洗瀬小水力発電所、杖立温泉熱バイナリー発電所、ながわ小水力発電所、霧島太陽光発電所、熊本菊池太陽光発電所、オンサイトPPA太陽光発電所（9）	
グリーン電力出資金の残高	208,913,479